

3月
定例会
2/21~3/19

平成25年度一般会計予算は367億円

「健康体力づくり」「市民活動」「映画館」の3つのキーワードを掲げ、人輝くまち「このす」を実現へ

平成25年3月定例会が2月21日から3月19日までの27日間にわたり開催されました。平成25年度当初予算や条例の制定、平成24年度一般会計補正予算等について慎重に審議を行いました。ここでは、主な質疑についてご紹介します。

平成25年度 会計別当初予算額 (単位:百万円)

一般会計		36,756
特別会計	国民健康保険事業	12,562
	介護保険	6,015
	北新宿第二土地区画整理事業	660
	広田中央特定土地区画整理事業	271
	後期高齢者医療	1,029
	農業集落排水	106
	計	20,643
公営企業会計	水道事業会計	3,161
	下水道事業会計	4,083
	計	7,244
合計		64,643

問 平成25年度一般会計予算の概要について問う。

答 平成25年度一般会計予算の総額は、367億5600万円です。前年度との比較は、額として6億4400万円の減、率にして1.7%の減であります。歳入は、個人市民税・法人市民税、固定資産税共に微減、都市計画税は前年度並みと見込まれます。歳出は、人件費の減少はあるものの、扶助費や公債費の増加により義務的経費の伸びが見込まれます。

※義務的経費とは、地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に節減できない経費です。

当初予算

平成25年度一般会計
予算は367億円

新規事業に注目

ゾーン30整備事業 3,000千円

吹上富士見地区内の指定区域を最高速度30km/hに規制することで速度抑制を図り、生活道路の安全性を確保します。

健康体力づくり推進事業 2,351千円

「すこやか運動応援室」を健康づくり課内に設置し、自治会を対象とした体操の普及・推進やウォーキング教室を開催。市民が健康管理に自主的に取り組める健康づくりメニューを4月に全世帯に配布しました。

地域子育て支援拠点(サロン型)事業 7,500千円

市民活動センター内に子育て交流コーナーをオープンし、相談したり、学びあったり、情報収集ができる場を提供します。

病児保育事業 8,110千円

病気または怪我をしている児童が集団での保育や保護者の就労で監護等ができない場合、看護師・保育士がいる病院内で一時的に預かる事業を開始します。

未熟児養育医療費支給事業 11,717千円

平成25年度から県から権限移譲を受ける事業で、母子健康法に基づき、発育が未熟で入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合、治療に要する医療費の公費負担を行います。

身体障害児育成医療給付事業 6,024千円

平成25年度から県から権限移譲を受ける事業で、現在、身体に障がいがあるか、又は現にある疾患に対する治療を行わないと将来、障がいを残すと認められる18歳未満のお子さんの医療費の一部を給付します。

映画館管理運営事業 103,054千円

市民の文化の振興を図り、市民の福祉の増進に寄与するため、7月オープンを目指してエルミこのすアネックスビルに映画館を整備します。

中山道宿場会議鴻巣宿大会事業 23,050千円

10月19日、20日の2日間にわたり開催される第27回全国中山道宿場会議「鴻巣宿大会」に併せて、將軍鷹狩り行列などの関連イベントを実施し、中山道の宿場町としての本市の歴史や文化を全国に向けて発信します。

市民活動センター管理運営事業 51,035千円

4月1日にオープンした市民活動センターにおいて、市民活動に係る交流の促進、情報の収集・提供、学習の機会の提供などを行い、市民交流の促進と市民活動の活性化を図ります。

鴻巣市まちづくりパートナー事業 500千円

様々な分野の有識者から助言等をいただき、本市のまちづくりの根幹をなす基本構想の策定や重要な政策課題の解決などに活用することにより、市政のさらなる推進を図ります。

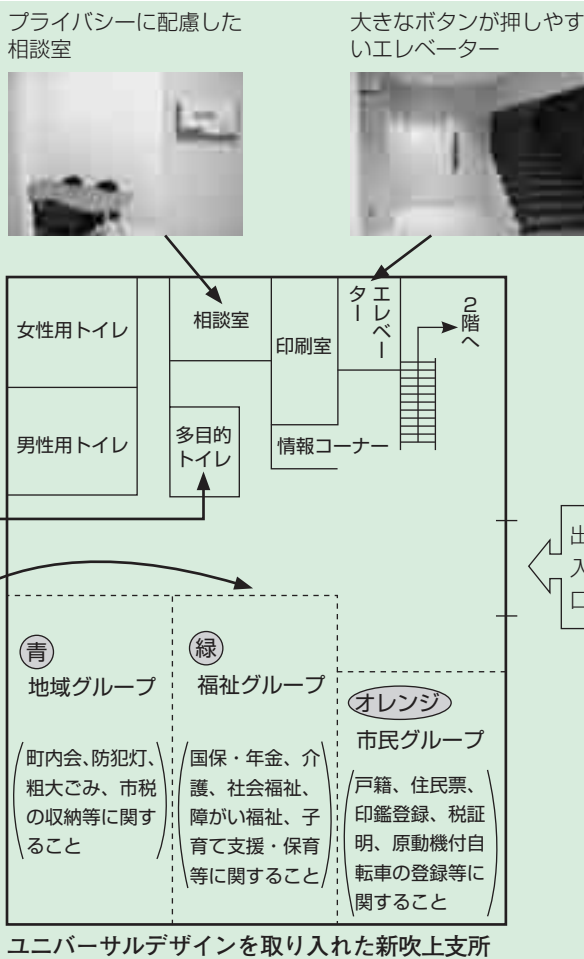
当初予算
**新吹上支所庁舎の機能
 に変更はあるのか**

問 吹上支所庁舎維持管理事業について、本年4月より新吹上支所の庁舎がオープンするが、吹上支所機能に変更があるのか問う。

答 新吹上支所の業務は、市民・福祉・地域各グループ共に従来と変更

はありません。支所機能としては、各種相談業務の相談室を外部にわからない場所に設置し、2階へのエレベーターも設置します。また、収納

式多目的シートを設置したオストメイト対応の多機能トイレや赤ちゃんの駅も設置し、高齢者や障がい者をはじめ誰でも使いやすく、旧支所よりも機能的に充実しています。



おむつ交換・衣服の着脱など、外出時の安心感や施設利用の快適性が大幅に向上する収納式多目的シート



どなたでも安心して利用していただけるように配慮した多目的トイレ

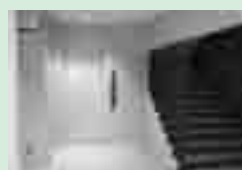


各グループごとに案内表示とイスの色を統一し、誰でもわかりやすいカウンター

プライバシーに配慮した相談室



大きなボタンが押しやすいエレベーター



当初予算
新規事業の鴻巣市まちづくりパートナー事業

問 平成25年度新規事業である「鴻巣市まちづくりパートナー事業」の内容について問う。

答 本市のまちづくりの根幹をなす基本構想の策定や重要な政策課題解決に、大学教授・民間コンサルタン・民間事業者・地元非常に明るい方など、様々な分野の有識者から助言等をいただく事業で、市政のさらなる推進を図ります。

当初予算
生物多様性事業について

問 環境衛生費の生物多様性事業の猟友会への謝礼に関連して、その経過と対応はどうだったのか。

答 11月26日猟友会の方が荒川河川敷でイノシシの足跡を発見、猟友会、警察・消防の方が捕獲作戦を行ったが発見、12月1日に親子4頭いるのを発見、再度猟友会、警察・消防の方々に参加いただき親のイノシシを射止めたが、他の3頭は散らばってしまった状況です。

当初予算
ゾーン30整備事業とは

問 国庫補助金の社会資本整備総合交付金としてゾーン30整備事業は目新しい事業だが55%という交付率は他の事業と比べてどうか。

答 国からの補助金を受けて交通安全事業が推進できるもので、補助率としては比較的高い率といえます。県の資料では県内41市町で実施し、169カ所を整備する予定となっております。

当初予算
友好姉妹都市事業について

問 群馬県沼田市と長野県上田市が候補に挙がっているが、両市とも可能性はあるのか。

答 既に沼田市とは観光交流を始めており、担当者同士での話は進めています。上田市においては平成25年度に行政交流をしながら進めていきたいと思っています。歴史的な経緯として小松姫といったつながりがあるので、まずは担当者間で観光交流などを通じての交流、さらには友好姉妹都市、そして最終的には災害時応援

協定に結び付けたいと考えています。

当初予算 災害時への対応 加圧式給水車を導入

問 新たにリースする給水車は、どのようなものか。

答 災害時に水を運搬するための専用の加圧式給水車となります。現在はトラックの荷台に載せる自然流下式タンクが7基ありますが、避難所や病院等の重要施設において加圧式でない給水できない施設があることから導入するものです。給水車については2トン車で、積載量は1・7立方メートルとなります。

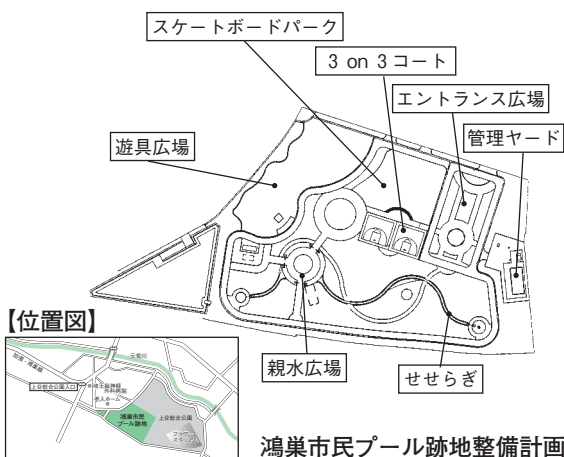
当初予算 市民プール跡地 充実した整備内容

問 市民プール跡地に整備する、子どもから大人まで楽しめるスポーツとレクリエーション機能の充実した施設とは。

答 せせらぎの親水施設を中心に、市内の公園では初めてとなるスケートボード施設、スリー・オン・スリー用コートや規模の大きな複合遊具等を整備します。

2力年の予定で整備をし、平成25

年度は給排水・電気設備の基盤整備工事や調整池、親水施設等の工事を実施します。



鴻巣市民プール跡地整備計画

当初予算 橋梁改修工事の実施 場所は

問 応急工事を実施する橋梁はどこか。

答 平成23年度に市内の橋長10メートル以上の62橋について、橋梁点検を実施しました。平成24年度に橋梁長寿命化計画を策定していますが、橋梁点検の結果に基づき、5橋について緊急の対応が必要となりました。5橋の内2橋は平成24年度に応急修繕を実施し、残りの3橋について今年度、応急修繕するものです。3橋

については、いずれも一級河川野通川に架かる橋梁で、鴻巣地域が小宮橋の1橋、川里地域が上会下橋と3147号線2号橋の2橋となります。

条例の制定 鴻巣市自治基本条例 検討委員会条例を廃 止する条例

問 意見公募や調整など、自治基本条例を施行するまでの委員の苦勞の声はないか。

答 委員委嘱後、勉強会を4回、検討委員会を19回、その他出前講座や意見交換会という形で委員自ら各公民館などに出向いて結果を報告し、理解をいただくまで繰り返ししたことが大変だったと思います。

条例の制定 鴻巣市新型インフル ンザ等対策本部条例

問 特別対策本部は、どのような状況の時に立ち上げるのか。

答 新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた時は、新型インフルエンザ等対策特別措置法第34条により、直ちに特別対策本部を設置し、行動計画に基づいて対策を講じます。重大な感染症が国内に入ってきた

場合、社会的に非常に大きな影響が出ることから、国が特別対策本部を設置して対処方針を決め、県がそれを受け、市が特別対策本部を設置して、総合的な情報発信や集団予防接種を実施します。

条例の一部改正 審議会等より市議会議員を除く条例の改正

問 本市の執行機関と議決機関の権限を明確にするために、市が設置する審議会等の構成員から市議会議員を除くところがあるが、改正する条例にはどのようなものがあるか。

答 鴻巣市附属機関等の設置及び運営に関する基本方針に基づき、執行機関と議決機関の権限を明確にし、相互に適正な抑制、均衡を図るため、法令に定めがある場合その他特別の事情があると認められる場合を除き、執行機関である市が設置する審議会等の委員の構成から、市議会議員を削る改正をするものです。

改正する条例は次のとおりで、そのほか規則等で定められている審議会等も改正します。

- ・ 鴻巣市総合振興計画審議会条例
- ・ 鴻巣市地域保健推進協議会条例
- ・ 鴻巣市立集会所設置及び管理条例

- ・鴻巣市人権教育推進協議会条例
- ・鴻巣市立小・中学校通学区区域審議会条例
- ・鴻巣市上下水道事業運営審議会条例
- ・鴻巣市人権施策推進審議会条例
- ・鴻巣市住居表示整備審議会条例
- ・鴻巣市環境審議会条例
- ・鴻巣市融資審査会条例

条例の一部改正 新市建設計画の実施 期間平成32年度まで 延長

問 国の法改正により、新市建設計画に基づく合併特例債の活用期間が5年延長されたが、本市の都市構造の土地利用方針と合併特例債の変更内容について問う。

答 新市都市構造の土地利用方針に北鴻巣地域拠点の周辺に新たに医療・福祉・産業集積地ゾーンを加えます。また合併特例債の活用期間が平成32年度まで5年間延長されたことにより、平成27年度計画の約241億4000万円から103億4900万円増の約344億8900万円に変更するものです。当初の合併特例債事業以外の事業では、学校施設の耐震化をはじめ、吹上中学校校舎改築事業、市民プールふきあげ跡地の多目的広場整備事業、学校教育

用パソコン設置事業等の事業があります。

補正予算 国の補正予算により、 前倒した各種事業

問 一般会計補正予算は、国の補正予算により前倒し実施し、財政負担が軽減されたと思うが、その事業について問う。

答 今回の補正予算では、国の経済危機対応・地域活性化予備費等の事業として、広田・吹上小学校の屋内大規模改修工事、下忍・大芦小学校の給食室新築工事であり、また、国の補正予算(第1号)の事業として、鴻巣駅西口駅前広場改修工事、市道路路改良工事、そして下水道事業会計の汚水・雨水管渠築造工事等で、両事業合わせてその財政的な効果額は、1億5085万円となります。

補正予算 インターロッキング 舗装整備

問 どのような目的で、どこ箇所を整備するのか。

答 鴻巣駅東口から歴史ある勝願寺、鴻巣公園及び産業観光館「ひなの里」へと通じる道路を整備することによ



インターロッキング舗装整備される市道

り、動線の確保並びに回遊性を促し、地域の活性化を図ることを目的として整備するものです。

今回の整備箇所については、人形1丁目地内の2号公園の前を通り、産業観光館「ひなの里」へと通じる道路を整備いたします。

その他 公の施設の指定管理 者の指定について

問 産業観光館「ひなの里」の指定管理者を選考するに当たって一番重きをおいた選考基準はどこか。

答 産業観光館の管理運営に精通していることや産業観光館の設置目的、伝統工芸品の展示あるいは歴史的なものを紹介するアテンドスタッフの学芸的な事業紹介も高く評価しました。

意見書

衆議院議員選挙の選挙区の改正を求める意見書

平成24年11月国会において選挙制度の改革を確実に進めるとした、与野党合意の一つの理由として平成24年12月16日に衆議院の解散総選挙が執行された。

国民の意思が、確実に国政に反映される選挙制度改革が、実現できるように求められている。とくに平成の合併によってできた新しい自治体で、いまだに統一された選挙区になっていない現状である。

現在、鴻巣市において衆議院選挙の選挙区は、旧鴻巣市、旧吹上町が埼玉県第6区、旧川里町が埼玉県第12区と選挙区が異なっている。すでに合併後7年を経過し、2度の衆議院選挙を実施している。地域住民の意思決定が公正に反映されるよう、衆議院選挙の選挙区の改正が早期に実現するよう求め、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

平成25年3月19日

鴻巣市議会

内閣総理大臣殿
総務大臣殿
衆議院議長殿
参議院議長殿

県議会議員選挙の選挙区の改正を求める意見書

平成17年10月1日、1市2町の住民の意思を尊重し、国、県の方針を受け合併をした。現在、鴻巣市の選挙区は、南第16区と東第4区となっており、加須市は東第3区と東第4区となっている。すでに2度の選挙区の特例による、県議会議員選挙を執行している。

鴻巣市は、鴻巣市議会議員選挙、鴻巣市長選挙をそれぞれ2度執行していることから、鴻巣市を1つの選挙区にすることが市民の公平な選挙権の行使にとって必要不可欠と考える。

平成22年9月21日、平成22年12月1日に、鴻巣市民から2度県議会に請願書を提出されているが、いずれも取り上げていない状況である。早急な選挙区割りの見直しを強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成25年3月19日

鴻巣市議会

埼玉県知事殿
埼玉県議会議員殿